

ツツジと日光連山が見える山 鳴虫山

実施日 2012年5月19日(土)
 天候 晴れ
 リーダー 鈴木 恵美子 SL 渋谷 京子
 参加者 齋 恵美子、佐藤 金治、福島 政子
 幸、涌井 良明、島本 陳重、山
 崎 富美恵、鈴木 恵美子、小村
 井 好枝、石附 智江、渋谷 賢
 寿、渋谷 京子、中村 友子、伊
 藤 久雄、古川 美恵子、徳山 敬
 子、小名 秀鋭 計16名

費用 東武線 2,640円
 タイム 東武日光駅(9:45)鳴虫山登山
 口(10:05)天主山神社(10:15~1
 0:20)分岐(10:55)神主山(11:00
 ~11:10)鳴虫山(12:23~13:00)合
 峰(13:20)独標(14:00~14:10)車
 道(14:50)含満淵(14:55)神橋(1
 5:22)東武日光駅(15:45)

名所「日光」は多くの観光客賑わって来た。参加者も16名と大人数の山である。東武日光駅前から東照宮に向かって国道と並行した道を15分程歩くと「鳴虫山登山口」の大きな看板がある。左折し志渡淵川の橋を渡り右に折れれば登山道入り口の道標があり迷う心配はない。樹林帯を登り程なく天主山神社が現れ日光市街が一望出来る。オレンジ色のヤマツツジが鮮やかに咲き誇り朝日を受けた新緑がまぶしい。時折谷から吹き上がる涼風が汗ばんだ身体に心地よい。



左手に分岐が現れ更に急坂を登る。高842mに着く。街や杉木とより男体が茂る標山、日光市も始

め大真名子、女峰、赤薙山などの日光連山の眺めが素晴らしい。幾つかのアップダウンを繰り返しながら

ら尾根道を歩く。トウゴクミツバツツジが緑の中にアクセントを付けている。標高1054m地点漸く待望のシロヤシオ



が迎えてくれた、別名「五葉ツツジ」とも云い数は多くは無いが清楚で可憐な白い花に思わずニッコリ！木の根が張り出して急登を一登りして

1103mの鳴虫山に到着。山岳修行的な場となった山、この山に雲がからると必ず雨が降るといふ伝説が付けられたと云われる。何らかのハイカーが休憩中、昼食タイム！



集合写真後、含満淵を目指していきなりの急な木段を下る。ブナ、ミズナラ、ツツジ等雑木林の緩やかな尾根道が続く。日光山の僧が修行した場所と伝わる合峰、石祠に手を合わせ又々木の根急坂を下って行くと独標へ。暫く行くと左手に一際鮮やかな新緑のカラマツ林が現れ、その美しさに息を呑む。左方向に男体山が垣間見え緊張の急坂続きの中、一服の清涼剤となる。

ひとしきり下ると道は緩やかにになり笹原を過ぎ発電所の脇で車道に出る。トンネルを潜り右に行くとすぐに含満淵だ。大谷川が水しぶきを上げ、圧巻の一言！

右側に化地蔵と呼ばれる70数体の石地蔵が。行きに数え帰りに数えても数が合わない事からこの名が付いたようだ。含満大谷橋を渡れば程なく国道。クールダウンを兼ねて駅迄歩く事に！神橋を右折して土産物屋、休み処を横目で見つつ東武日光駅に到着して解散となった。お疲れ様でした。大勢の方に参加頂き新緑の中、山の醍醐味を存分に味わう事が出来ました。代行とはいえない慣れない点もあったかと思いますが、リーダーの方々、参加された皆様に感謝です。ご協力どうも有り難うございました。

(記・渋谷 京子)
(写真提供・涌井良明)